

10 . 地域との連携

米代川では、子供たちに自然とふれあう場を提供しようと、鷹巣町に米代川沿川の小学校等を対象とした河川環境学習の場として、「水辺の楽校」が平成8年に開校した。米代川では、地域のニーズに基づき身近な河川空間を子供たちの体験学習の場として整備が進められている。さらに、河川愛護団体や住民等により、毎年クリーンアップ活動が行われ、米代川の美化活動が地域の自主的な取り組みによって行われている。

また、河川に関する情報を地域に対し、パンフレットやインターネットホームページ等を活用し提供するとともに、地域のニーズの把握に向けた住民参加の各種懇談会を開催し、双方向の情報交換に努めており、川と人々のつながりや流域連携の促進及び支援、河川愛護意識の定着と高揚、住民参加による河川管理を推進している。

さらに、昭和47年7月洪水で甚大な被害を受けた能代市中川原地区では、復旧後、水と緑のまちづくりを目指し、中川原連合自治会と行政との意見交換の場として「水と緑を語る会」を毎年開催している。



出典：能代工事事務所資料



出典：能代工事事務所資料

【水辺の楽校（鷹巣町）】

米代川沿川の小学校等の河川環境学習の場として、鷹巣町では、平成8年に水辺の楽校を開校した。地域ニーズにより、河川空間が子供たちの体験学習の場として利用されている。



出典：能代工事事務所資料



【クリーンアップ活動】 出典：能代工事事務所資料

毎年、地域住民や河川愛護団体の自主的な取り組みにより、米代川等のクリーンアップ活動が行われている。